

# 2009年度(2010年3月期) 決算発表補足資料

**NECネットエスアイ株式会社**  
2010年5月12日



---

# I . 2009年度実績概要

# 2009年度業績サマリー

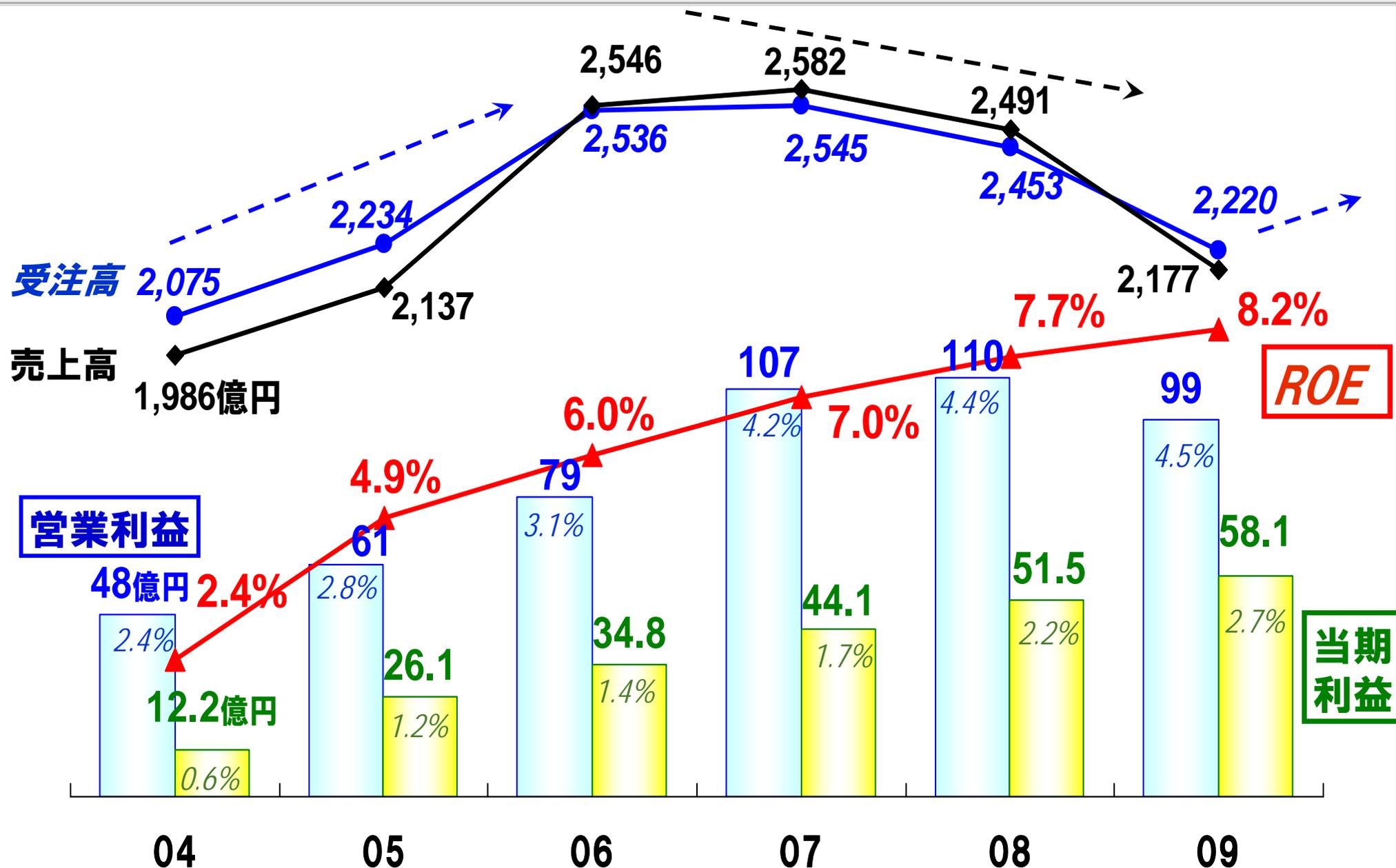
■ 受注・売上は前期比減少も、4期ぶりに受注が売上を上回る  
 (4Q受注は前年同期比で増加)

■ 経営改革加速により、収益率を改善

- 各利益項目で予想を過達。当期純利益は過去最高益を達成

(億円)	08年度 実績	09年度 実績	4Q 実績	前4Q比 増減	増 減	09年度 予想値
受注高	2,453	2,220	631	+2%	△9%	2,300
売上高	2,491	2,177	701	△13%	△13%	2,300
売上総利益(GP) (GP率)	355 (14.2%)	329 (15.1%)	112	△11	△25 +0.9pt	
営業利益 (営業利益率)	110 (4.4%)	99 (4.5%)	51	△5	△11 +0.1pt	92 (4.0%)
経常利益	112	101	51	△7	△11	92
当期純利益 (当期純利益率)	52 (2.1%)	58 (2.7%)	29	+8	+7 +0.6pt	52 (2.2%)
ROE	7.7	8.2			+0.5pt	

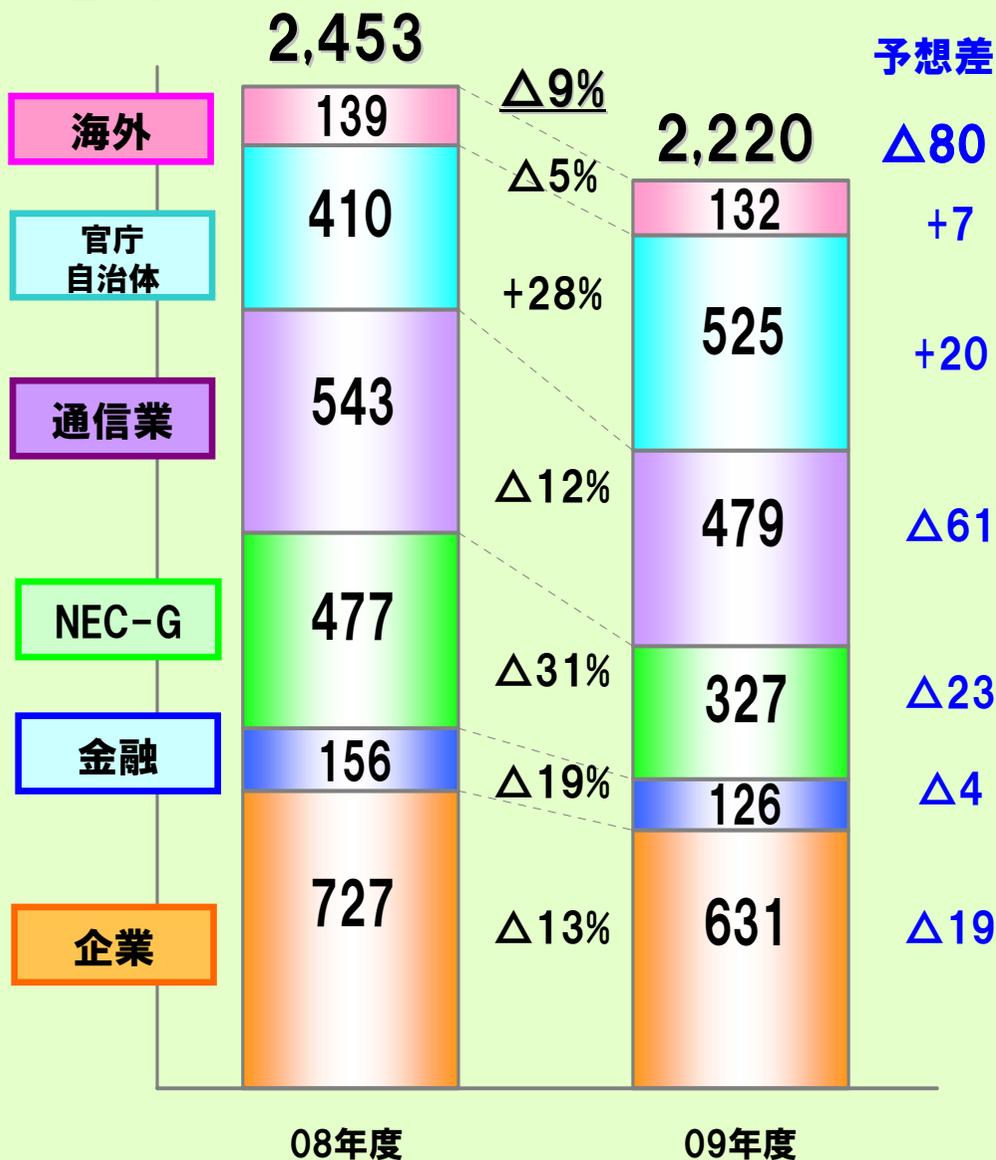
# 受注/売上高・損益推移



# 2009年度 マーケット別受注高

## マーケット別

単位:億円



**海外** ・アジア、南米向け減少

**官庁・自治体** ・補正関連で中央、自治体関連好調  
→地域情報化、CATV関連

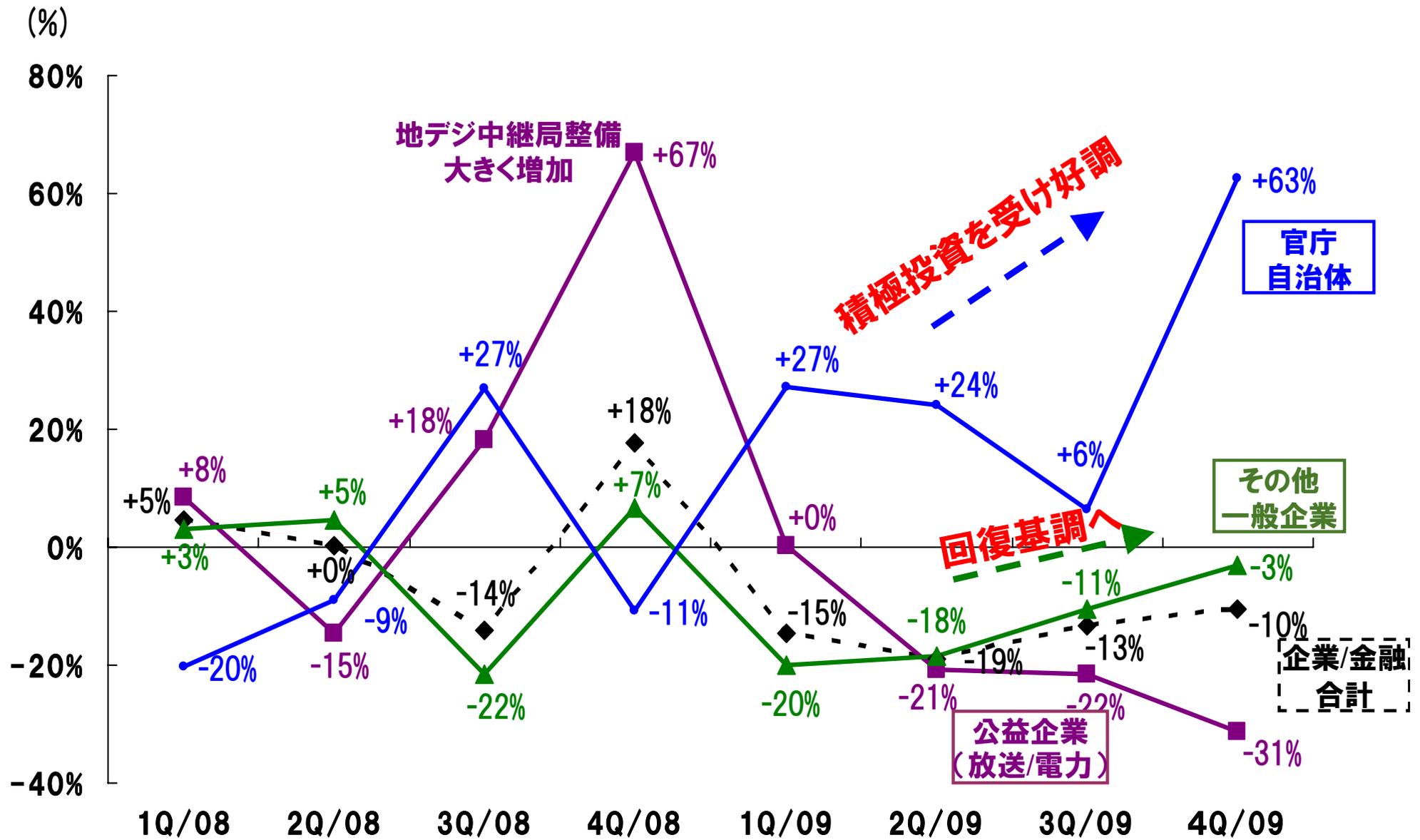
**通信業** ・既存サービスへの投資抑制傾向  
・次世代モバイル関連は堅調

**NEC-G** ・キャリア向けシステム支援業務、  
NEC-G内NW運用業務減少

**金融** ・投資抑制影響により減少も、  
足元では、需要顕在化  
(移転、NW更新)

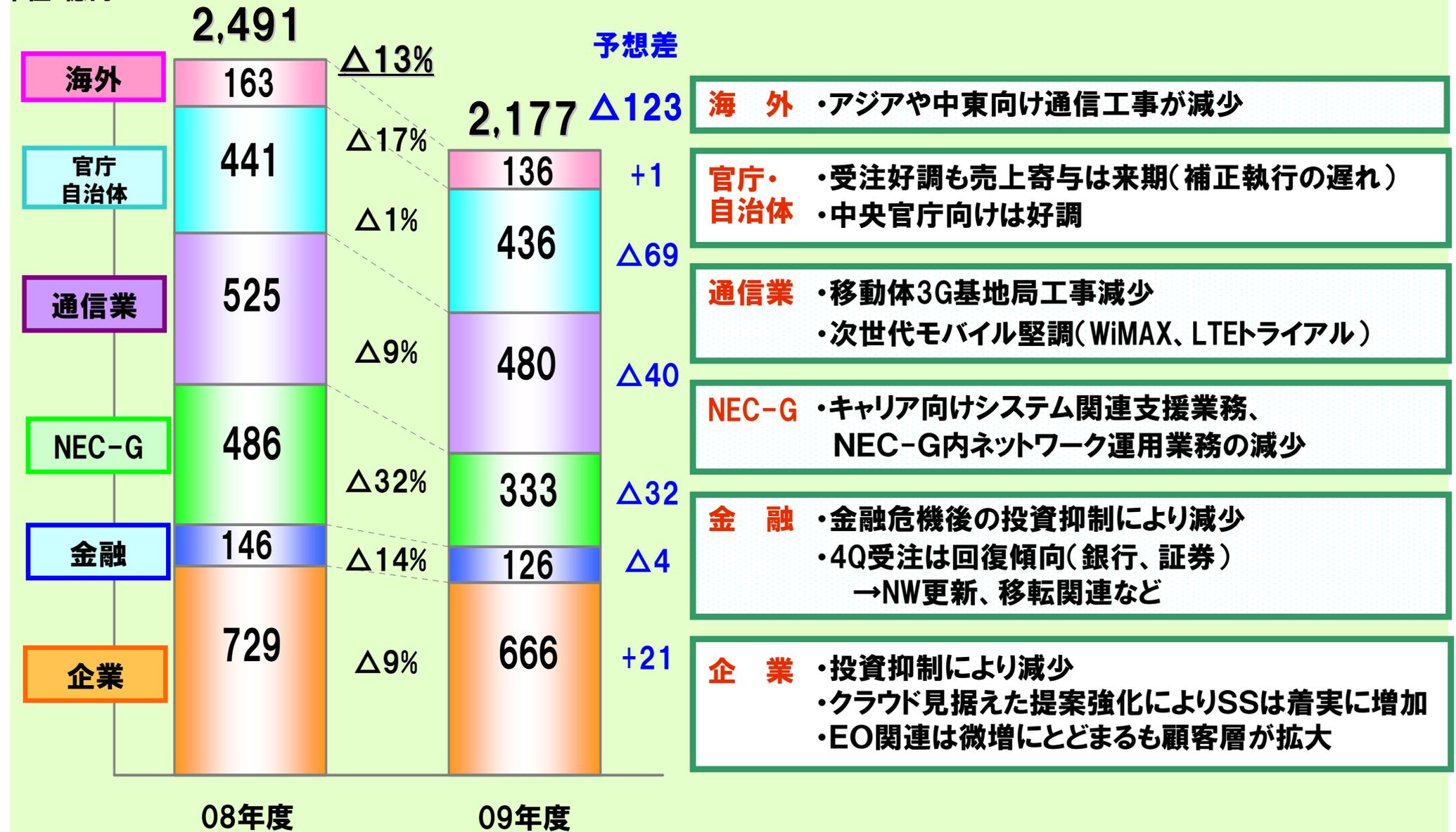
**企業** ・投資抑制による減少  
・下半期より首都圏中心に回復傾向  
(6%増)

# 四半期受注トレンド:対前年同期比



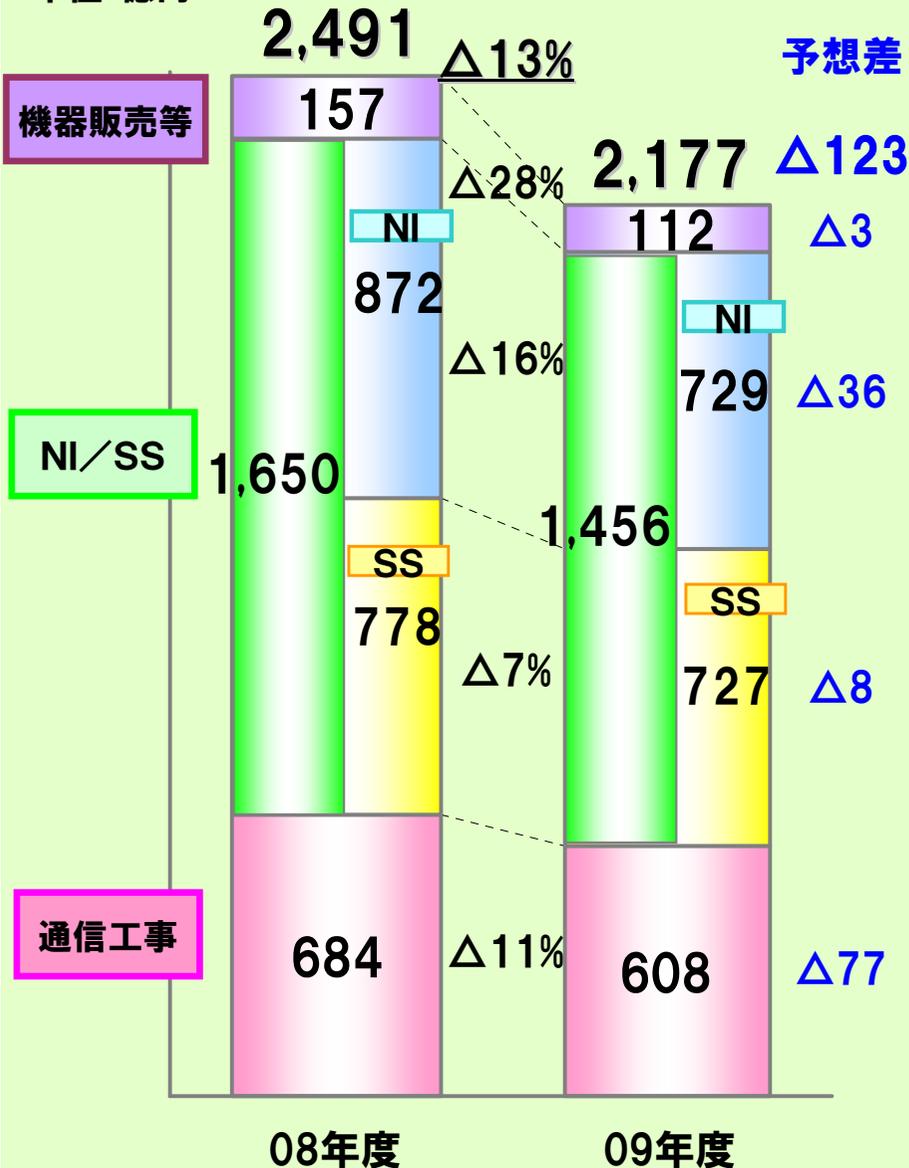
# 2009年度 マーケット別売上高

単位:億円



# 2009年度 セグメント別売上高

単位:億円



**機器販売** 投資抑制により減少

**NI/SS** **NI:** 民間投資抑制の影響で減少  
 足元では、首都圏エリアで増加基調  
 データセンター等クラウド関連も増加

**SS:** NECグループ向け中心に減少  
 企業向けは着実に増加  
 →クラウド見据えた提案強化  
 →サービス基盤強化による品質向上

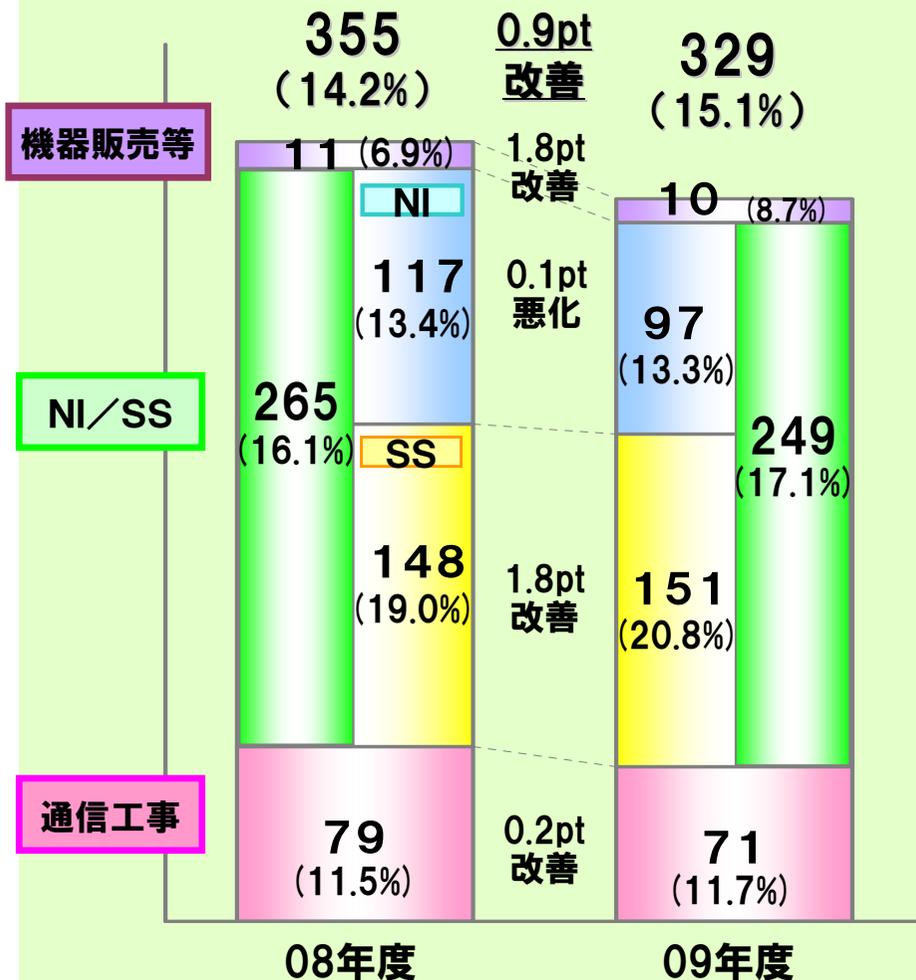
**通信工事** 移動体基地局工事、海外工事減少  
 官庁・自治体向け受注は好調も  
 売上計上寄与は来期

※NI:ネットワークインテグレーション、SS:サポート・サービス事業

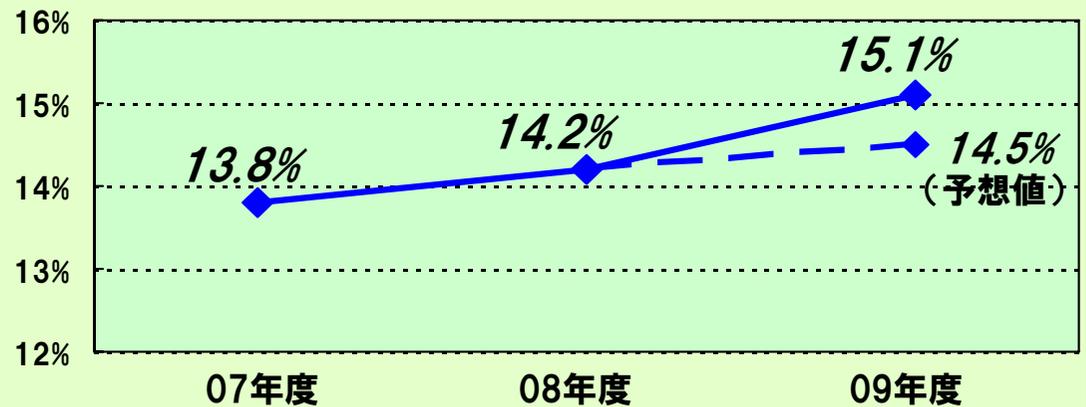
# 2009年度 セグメント別GP/販管費

経営改革(AC-I)活動加速で、販管費含めた総コスト削減強化  
減収なるも収益性は改善

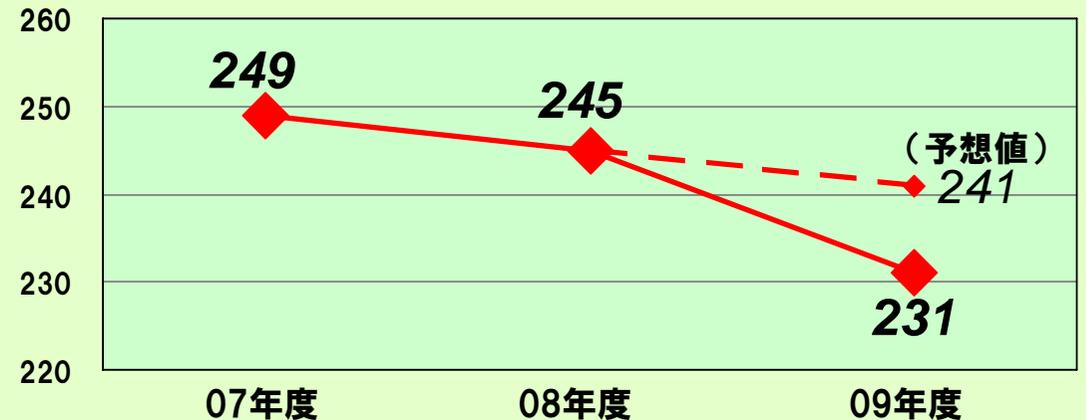
単位:億円  
( )内はGP率



## ■GP率推移



## ■販管費推移



# 2009年度トピックス

## 官庁・自治体向け補正関連需要の取り込み(受注:28%増)

- 地域情報化関連、中央官庁向けなど受注が大幅増  
→機動的/効率的な全国体制への転換が奏功  
→売上寄与は主に来期

## 顧客密着活動強化により、注力分野での受注好転

- 企業向け:首都圏エリアで下期6%増
- SS事業:全業種向けで4Q受注増加
- データセンター等、クラウド関連が着実に拡大

## EmpoweredOffice認知向上

- 日経ニューオフィス賞の受賞(8月)

## 経営改革AC-I活動による徹底した効率化の推進

- GP率:0.9ポイント改善、販管費:14億円削減  
→ワークスタイル、業務プロセス改革による共通コスト削減  
→事業基盤統合等によるSS事業収益力強化(SS事業GP率:1.8ポイント改善)

# 連結バランスシート

(単位:億円)

		09/3末	10/3末	増減
	現金及び預金	166	295	129
	受取手形及び売掛金	913	800	△113
	たな卸資産	94	73	△21
	その他流動資産	60	71	11
<b>流動資産合計</b>		<b>1,233</b>	<b>1,239</b>	<b>6</b>
<b>固定資産合計</b>		<b>241</b>	<b>230</b>	<b>△11</b>
<b>資産合計</b>		<b>1,475</b>	<b>1,469</b>	<b>△6</b>

	買入債務	399	350	△49
	借入金	51	50	△1
	その他負債	331	327	△4
<b>負債合計</b>		<b>781</b>	<b>727</b>	<b>△54</b>
	株主資本合計	693	740	47
	評価・換算差額等合計	△6	△5	1
	少数株主持分	6	6	0
<b>純資産合計</b>		<b>693</b>	<b>742</b>	<b>49</b>
<b>負債純資産合計</b>		<b>1,475</b>	<b>1,469</b>	<b>△6</b>

<b>株主資本比率</b>	<b>46.6%</b>	<b>50.1%</b>	<b>+3.5pt</b>
---------------	--------------	--------------	---------------

<b>ROE</b>	<b>7.7%</b>	<b>8.2%</b>	<b>+0.5pt</b>
------------	-------------	-------------	---------------

# 連結キャッシュフロー

(単位:億円)

	09/3末	10/3末
営業活動によるキャッシュフロー	70	161
投資活動によるキャッシュフロー	△22	△19
財務活動によるキャッシュフロー	△21	△14
現金および現金同等物期末残高	166	295
フリーキャッシュフロー	48	142

---

## II. 2010年度業績予想

# 2010年度通期業績予想

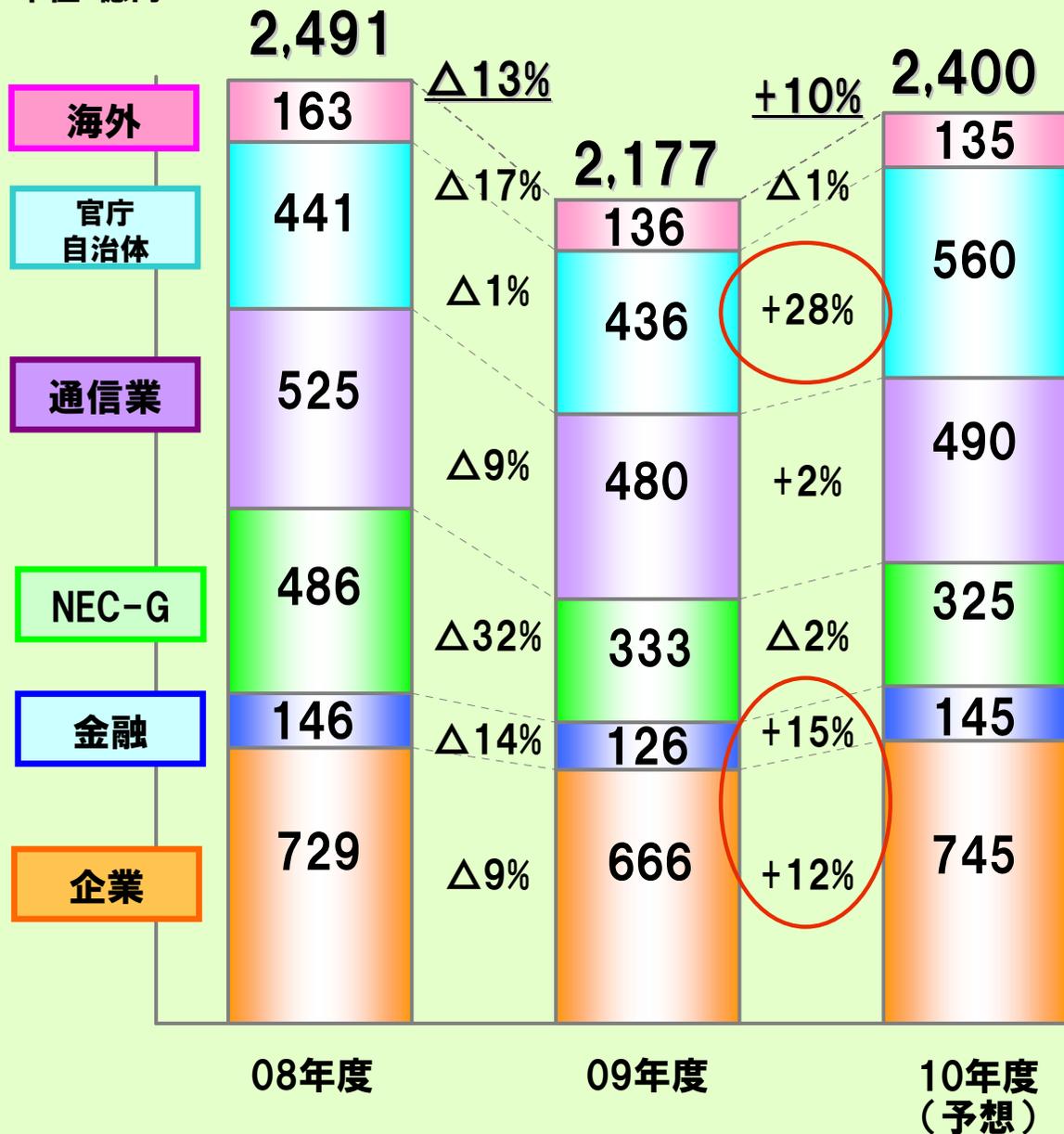
- 成長力強化に注力(受注、売上:2ケタ近い成長を目指す)
- 利益率は一時的な低下を見込むも攻めの営業積極化
- 既存事業シェアUP+新規領域(環境、クラウド等)拡大

(億円)	09年度	10年度 (予想)	増減	
				増減率
受注高	2,220	2,400	+180	+8%
売上高	2,177	2,400	+223	+10%
売上総利益(GP) (GP率)	329 (15.1%)	340 (14.2%)	+11 $\Delta 0.9pt$	+3%
営業利益 (営業利益率)	99 (4.5%)	100 (4.2%)	+1 $\Delta 0.3pt$	+1%
経常利益	101	100	$\Delta 1$	$\Delta 1\%$
当期純利益 (当期純利益率)	58 (2.7%)	47 (2.0%)	$\Delta 11$ $\Delta 0.7pt$	$\Delta 19\%$

※予想値は2010年5月12日現在

# 2010年度 マーケット別売上高予想

単位:億円



**官庁・自治体** ・地域情報化、消防・防災事業拡大  
→シェアUP、サービス事業拡大

**通信業** ・既存網からサービス投資へ  
→次世代モバイル対応強化  
→クラウド基盤事業強化

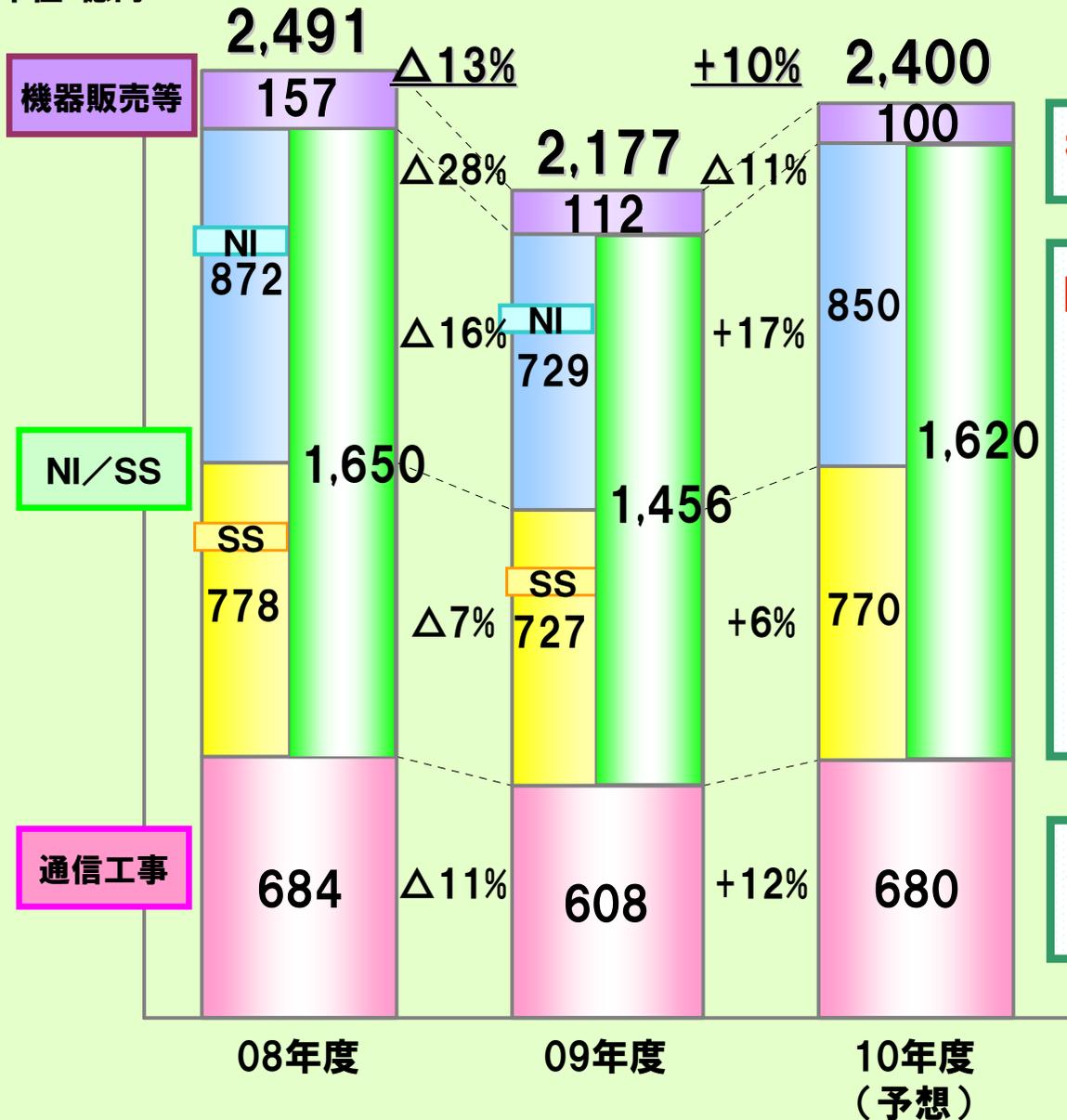
**金融** ・移転、リプレイス対応積極化  
→投資回復によるP/J増期待

**企業** ・EO軸に提案強化  
→スマートワーク&スリムオフィス提案  
→環境事業強化(省エネオフィス)  
・サービス事業強化  
→クラウド、オペレーション事業強化

※予想値は2010年5月12日現在

# 2010年度 セグメント別売上高予想

単位:億円



**機器販売** 投資回復基調も採算重視

**NI/SS** NI: 企業向け対応積極化  
 → 移転、オフィス改革需要取込み  
 → 環境、クラウド等新規領域

SS: サービス事業強化  
 → クラウド型サービス拡充  
 → オペレーション事業強化  
 キャリア、自治体向けSS拡大

**通信工事** 官庁・自治体向け拡大  
 → 地域情報化、消防・防災強化

※NI: ネットワークインテグレーション、SS: サポート・サービス事業

※予想値は2010年5月12日現在

# 配当について

## ■2009年度(2010年3月期)の配当の修正について

	1株あたりの年間配当金		
		第2四半期末	期末
	円 銭	円 銭	円 銭
2009年度	25.00	11.00	14.00

◎当期純利益が過去最高益を達成

株主の皆様への感謝のため、期末3円の特別配当を実施

## ■2010年度(2011年3月期)の配当予想

	1株あたりの年間配当金(予想)		
		第2四半期末	期末
	円 銭	円 銭	円 銭
2010年度	26.00	13.00	13.00

◎成長投資との配分を勘案するも、収益基盤の安定化を鑑み  
年間26円へと増配

※予想値は2010年5月12日現在

# 本社移転による攻めの経営の加速

移転に伴う一時費用予定額:約15億円(2010年度業績予想に織り込み済み)

## 分散拠点統合+全社E0化による効率化、事業力向上

→フロア効率35%超向上

→年間10億円以上の効果を期待

(フロア賃料、E0化による業務効率化、通勤費等移動コストなど)

## 営業拡大・市場へのPR(攻めのオフィスへ)

→スピーディなお客様対応強化(主要エリア5km圏内)

→全社E0ショールーム化(実験的モデルオフィスへ)

## BCP対策の強化

### 新本社概要



■住所:文京区後楽2-6-1

住友不動産飯田橋ファーストタワー  
地上34階、地下2階

■アクセス:飯田橋駅(JR・東京メトロ・都営地下鉄)約5分

後楽園駅(東京メトロ)約8分

■入居フロア:2~5階、22階~28階(約5300坪)

→移転前面積(約8300坪)

■移転時期:2010年8月より順次(2010年9月末移転完了予定)

---

# NEC

NEC ネットワークエスアイ株式会社  
NEC Networks & System Integration Corporation

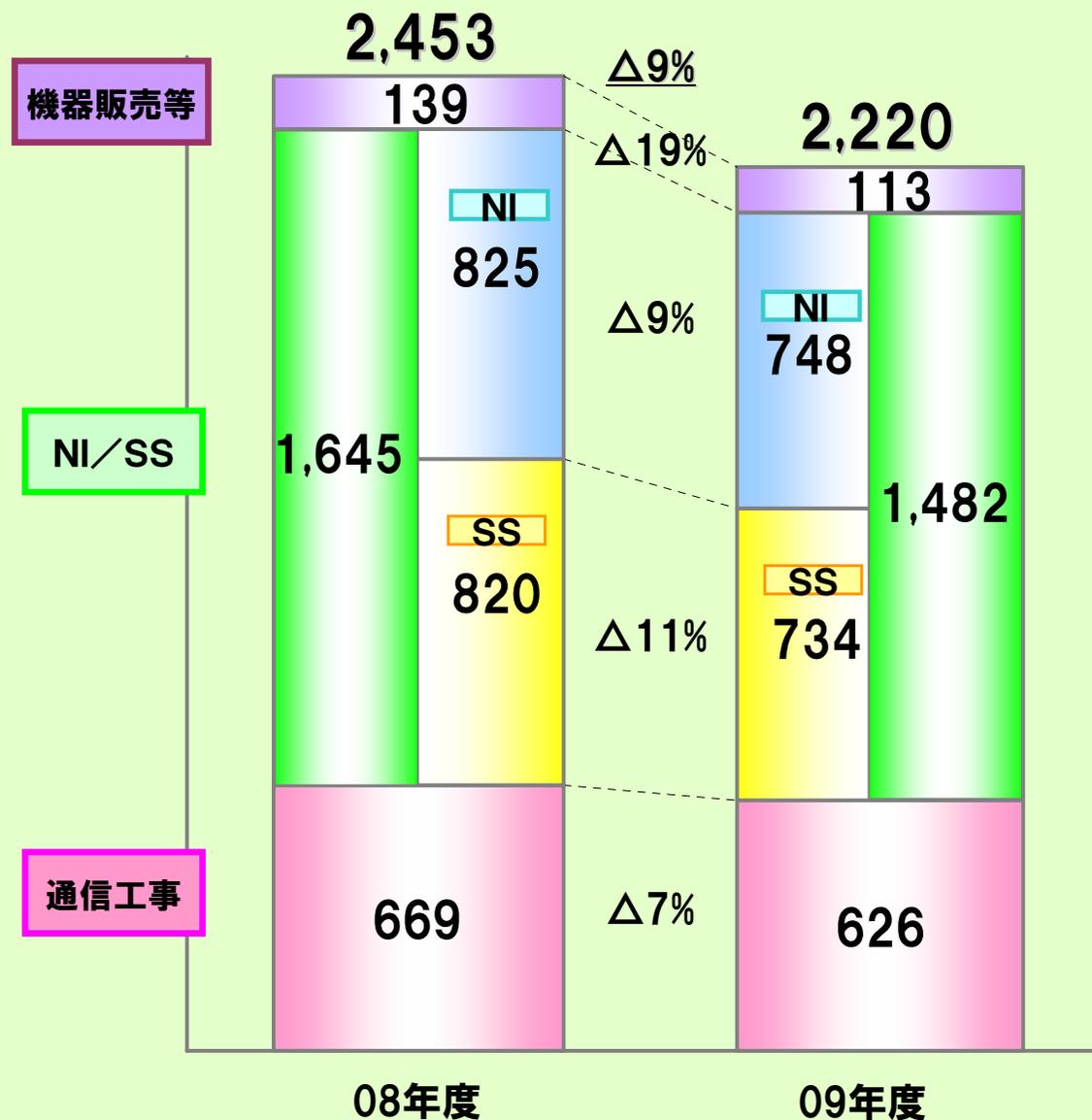
[www.nesic.co.jp](http://www.nesic.co.jp)

---

# ご参考資料

# 2009年度 セグメント別受注高

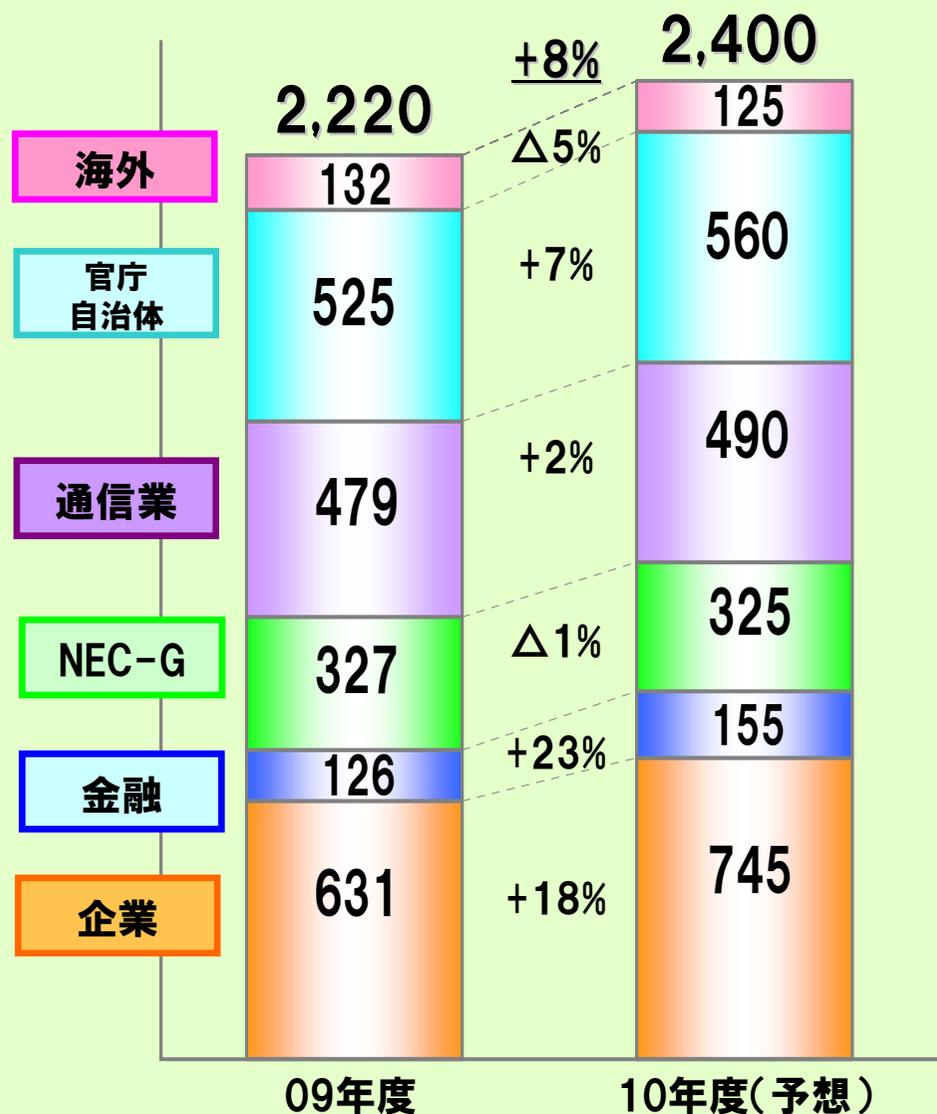
## セグメント別



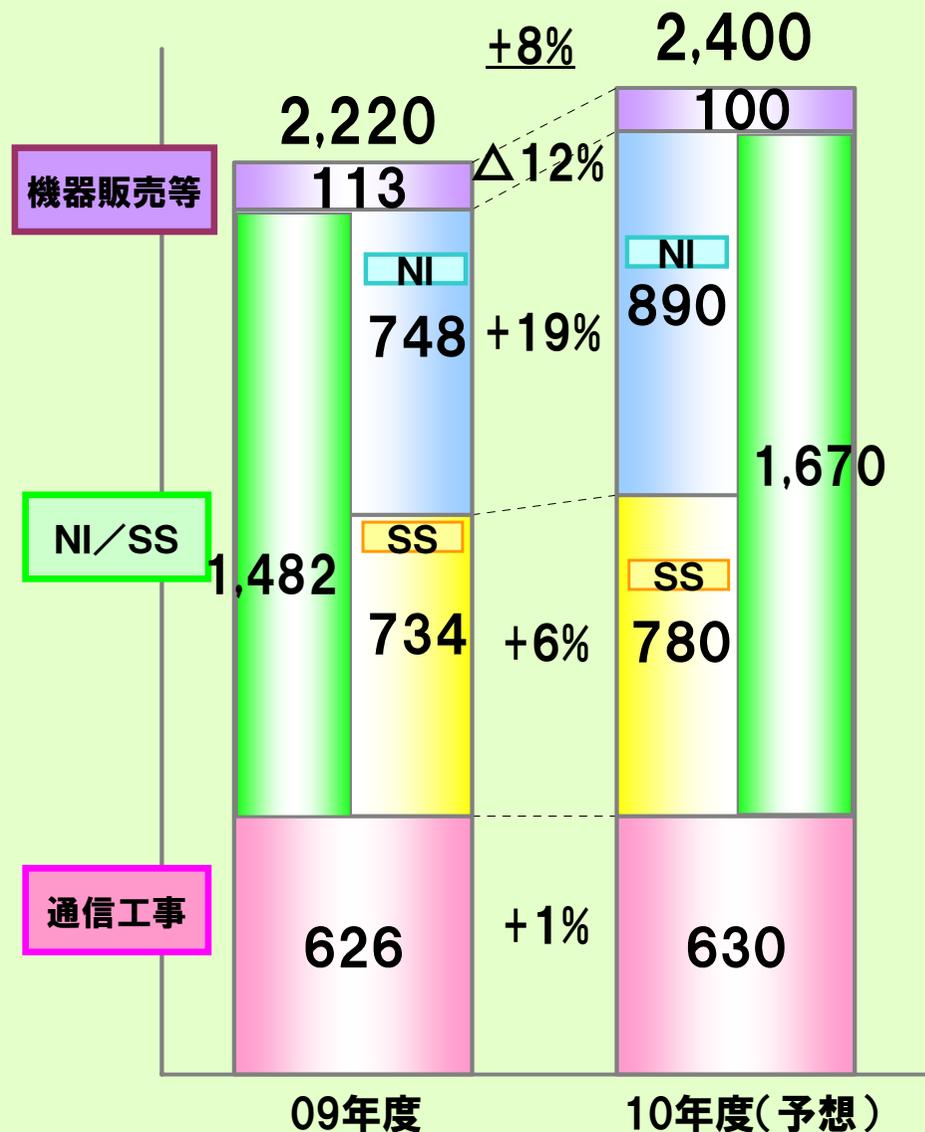
# 2010年度 受注高予想

## マーケット別

単位:億円



## セグメント別



※NI:ネットワークインテグレーション、SS:サポート・サービス事業  
 ※予想値は2010年5月12日現在

# (参考)最終得意先別 受注高(2009年度)

	08年度		09年度		前期比増減	
		構成比		構成比		増減率
官庁・自治体	410	16.7%	525	23.7%	116	28%
通信業	543	22.2%	479	21.6%	△65	△12%
移動体系	273	11.1%	238	10.7%	△35	△13%
固定系	168	6.8%	138	6.2%	△29	△18%
電力系	40	1.6%	39	1.8%	△0	△1%
その他(ISP等)	63	2.6%	63	2.9%	0	1%
NEC・NECグループ	477	19.4%	327	14.7%	△150	△31%
金融業	156	6.4%	126	5.7%	△30	△19%
企業	727	29.7%	631	28.4%	△96	△13%
流通・サービス業	177	7.2%	160	7.2%	△16	△9%
放送業	133	5.4%	108	4.8%	△26	△19%
製造業ほか	417	17.0%	363	16.3%	△54	△13%
海外	139	5.7%	132	5.9%	△7	△5%
合計	2,453	100.0%	2,220	100.0%	△232	△9%

# (参考)最終得意先別 売上高(2009年度)

	08年度		09年度		前期比増減	
		構成比		構成比		増減率
官庁・自治体	441	17.7%	436	20.0%	△5	△1%
通信業	525	21.1%	480	22.0%	△45	△9%
移動体系	272	10.9%	242	11.1%	△30	△11%
固定系	160	6.4%	133	6.1%	△27	△17%
電力系	36	1.4%	42	1.9%	6	16%
その他(ISP等)	58	2.3%	63	2.9%	6	10%
NEC・NECグループ	486	19.5%	333	15.3%	△154	△32%
金融業	146	5.9%	126	5.8%	△20	△14%
企業	729	29.3%	666	30.6%	△63	△9%
流通・サービス業	184	7.4%	157	7.2%	△27	△15%
放送業	129	5.2%	124	5.7%	△5	△4%
製造業ほか	417	16.7%	386	17.7%	△31	△7%
海外	163	6.6%	136	6.3%	△27	△17%
合計	2,491	100.0%	2,177	100.0%	△313	△13%

# 本資料についてのご注意

**本資料に記載されている将来の業績等に関する見通しは、将来の予測であり、確定的な事実に基づかないために、リスクや不確定要因を含んでおります。**

**実際の業績は、様々な要因の変化により記載の見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おき願います。**

**実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、当社グループの事業を取り巻く経済情勢、社会的動向、当社グループの提供するシステムやサービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、市場対応能力などです。**

**なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定するものではありません。**